

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公開番号】特開2015-143841(P2015-143841A)

【公開日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2015-050

【出願番号】特願2014-257092(P2014-257092)

【国際特許分類】

G 10 B 3/00 (2006.01)

G 10 H 1/32 (2006.01)

【F I】

G 10 B 3/00 E

G 10 H 1/32 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月8日(2017.12.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

鍵盤部と、

前記鍵盤部が設けられた楽器ケースと、

前蓋と後蓋とが連結部材によって折り曲げ可能に連結され、前記前蓋及び後蓋を折り曲げた状態で前記鍵盤部を開放する鍵盤蓋と、

前記鍵盤部の上方に設けられ、前記鍵盤部を開放する際に、前記後蓋の前端部を前記後蓋の後端部より上方にするとともに、前記後蓋を、開放する前と比べて前記鍵盤部の後部に位置させるように、前記後蓋の後端部を回転させる回転支点部と、

前記前蓋の前端部を前記回転支点部の下方へガイドすることにより、前記前蓋の後端部を前記前蓋の前端部よりを上方にするとともに、前記前蓋を、開放する前と比べて前記鍵盤部の後部に位置させることにより、前記鍵盤部を開放するガイド部と、

を備えている鍵盤楽器。

【請求項2】

請求項1に記載の鍵盤楽器において、前記ガイド部は、前記鍵盤部の前部から前記回転支点部下方に亘って設けられ、前記鍵盤蓋が前記鍵盤部を閉じた状態から開放した状態となる際に、前記前蓋の前端部が前記鍵盤部の前部から前記回転支点部下方へ移動するのをガイドする、鍵盤楽器。

【請求項3】

請求項2に記載の鍵盤楽器において、前記前蓋の前端下部には突起部が設けられており、

前記ガイド部は、前記鍵盤部の前部から前記回転支点部下方に亘って設けられた溝部であって、前記鍵盤蓋が前記鍵盤部を閉じた状態から開放した状態となる際に、前記突起部が前記溝部に挿入された状態で、前記前蓋の前端部が前記鍵盤部の前部から前記回転支点部下方へ移動するのをガイドする溝部を有する、鍵盤楽器。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれかに記載の鍵盤楽器において、前記回転支点部は、前記鍵盤部の後部上方に設けられ、前記鍵盤蓋が前記鍵盤部を開放した際に、前記後蓋の前端部を、

前記後蓋の後端部より上方にして前記後蓋を前記鍵盤部の後部に対して起立させるように、前記後蓋の後端部を回転させ、前記ガイド部は、前記前蓋の後端部を前記前蓋の前端部より上方にして前記前蓋を前記鍵盤部の後部に対して起立させる、鍵盤楽器。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の鍵盤楽器において、前記楽器ケースは、底板と、前記底板の両側部に起立して設けられた一対の側板と、前記鍵盤部後端部上を覆うカバー板とを有し、

前記溝部は、前記鍵盤部の前端部から前記鍵盤部の上側に沿って前記カバー板の上方まで連続して設けられるとともに、前記カバー板側の端部は下降した形状を有する鍵盤楽器。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の鍵盤楽器において、前記鍵盤蓋が前記鍵盤部を開放した際に、起立した前記前蓋の後端部に対して、前記回転支点部により起立していく前記後蓋の前端部から加重が加えられることにより、前記ガイド突起部は、前記溝部の前記カバー板側の端部にて移動を停止する鍵盤楽器。

【請求項 7】

請求項 5 に記載の鍵盤楽器において、前記回転支点部は、前記カバー板の上方でかつ前記一対の側板間に設けられた軸部と、前記後蓋の後端上部に設けられた筒状の軸受部とを備え、当該軸部が前記軸受部に挿入された状態で前記軸部を中心に前記後蓋が上下方向に回転するように構成される鍵盤楽器。

【請求項 8】

請求項 5 に記載の鍵盤楽器において、前記前蓋は、その前後方向の長さが前記後蓋の前後方向の長さよりも長く形成され、

前記回転支点部の軸部は、前記カバー板上方に設けられている前記溝部より高い位置であって、前記鍵盤蓋が前記鍵盤部を開放した際に、前記溝部に挿入されているガイド突起部と接触しない位置に設けられている鍵盤楽器。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載の鍵盤楽器において、前記鍵盤部に対する押鍵に応答して楽音を発生させる信号を出力する回路部をさらに有する鍵盤楽器。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の鍵盤楽器において、前記前蓋及び前記後蓋の前記鍵盤部側の面同士を近づけるように折り曲げる方向に付勢する付勢部材をさらに有する鍵盤楽器。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の鍵盤楽器において、前記鍵盤蓋が前記鍵盤部を覆って閉じる際に前記前蓋の前端部を弾力的に制動する第1の制動部と、前記鍵盤蓋が前記鍵盤部を開放して開く際に前記前蓋の前端部を弾力的に制動する第2の制動部と、を備えている鍵盤楽器。

【請求項 12】

請求項 10 に記載の鍵盤楽器において、前記鍵盤蓋が前記鍵盤部を開放して開いた際に前記前蓋の前端部を係脱可能に係止するロック部を備えている鍵盤楽器。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 12 のいずれかに記載の鍵盤楽器において、前記前板の表面に譜面受け部を設けた鍵盤楽器。

【請求項 14】

鍵盤部が設けられた楽器ケースと、

前蓋と後蓋とが連結部材によって折り曲げ可能に連結され、前記前蓋及び後蓋を折り曲げた状態で前記鍵盤部を開放する鍵盤蓋と、

前記鍵盤部の上方に設けられ、前記鍵盤部を開放する際に、前記後蓋の前端部を前記後蓋の後端部より上方にするとともに、前記後蓋を、開放する前と比べて前記鍵盤部の後部に位置させるように、前記後蓋の後端部を回転させる回転支点部と、

前記前蓋の前端部を前記回転支点部の下方へガイドすることにより、前記前蓋の後端部

を前記前蓋の前端部より上方にするとともに、して前記前蓋を、、開放する前と比べて前記鍵盤部の後部に位置させるようにして前記鍵盤部を開放するガイド部と、
を備えている鍵盤蓋開閉装置。

【請求項 1 5】

操作部が設けられたケースと、
前蓋と後蓋とが連結部材によって折り曲げ可能に連結され、前記前蓋及び後蓋を折り曲げた状態で前記操作部を開放する蓋と、
前記操作部の上方に設けられ、前記操作部を開放する際に、前記後蓋の前端部を前記後蓋の後端部より上方にするとともに、前記後蓋を、開放する前と比べて前記操作部の後部に位置させるように、前記後蓋の後端部を回転させる回転支点部と、
前記前蓋の前端部を前記回転支点部の下方へガイドすることにより、前記前蓋の後端部を前記前蓋の前端部より上方にするとともに、前記前蓋を、開放する前と比べて前記操作部の後部に位置させるようにして前記操作部を開放するガイド部と、
を備えている蓋開閉装置。